

森 友

～須崎地区森林組合広報～



- 02 広報発行にあたり／協働の森、高校生間伐体験
- 03 夏休み木工教室
- 04 地籍調査とは?／山林買います!／消防団で活動しています
- 05 分収造林について／生活林伐採事業に取り組んでいます!
- 06 いざ間伐!! 他

広報発行にあたり

秋たけなわの季節になってきました。皆様益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、今年の夏は猛暑、又日本各地で大雨洪水と記録づくめの異常気象が続きました。今後に於いてもこのような温暖化現象は続くであろうと、予測報道されていて心配が募るばかりです。

そのような中で森林整備に取り組んでまいりましたが、平成24年度は、政権が揺らいだ年で各種補助制度の凍結、緊急な木材増産政策の歪みによる木材価格の暴落、組合の読み違い等要因が重なり、厳しい経営結果になりました。

そのような中昨年12月には衆議院総選挙で政権交代があり、今後に於いて各種補助事業の復活が予想される状況となり希望を繋いでいます。平成25年度事業を展開するに当たり、管内の山林は伐期に達する山林も多く、木材の伐り出しを検討しています。しかし管内は極端に林道、作業道が少なく利用間伐には作業道開設が必須であります。それに伴う事業費負担金が苦慮されます。それらを考慮したあたらしい森林経営計画制度を国県を上げて奨励しています。木材蓄積の多い地域毎に(30~100ha程度)地権者の同意を頂き

作業道の開設、収入間伐を計画的に実施していく方向に進んでいます。その制度は有利な補助金がつきますので、当組合もこの制度を中心に民有林の森林整備を進めていくつもりです。全地域を二斉にはできませんので、利用間伐の多く見込まれるところを選定して進めますが、多くの山林をお持ちの方で、隣接の地権者の同意を得られそうな場合、申し出をして頂ければ優先順位を上げて計画を作成致しますので、ご協力宜しくお願いします。

又、平成24年度より中土佐町の国土調査事業へ参入し、更に平成25年度は須崎市でも取り組み始めました。木材価格の低迷で、山への関心が薄くなり、後継者への引き継ぎも進んでいない山林が多く出てきています。今少しでも地域に詳しい方がおられます時に、今まで組合の蓄積してきた情報を絡めて推進することは意義あることと取り組んでまいります。

須崎地区森林組合は平成24年度掲げた『誠実な組合事業を通して、組合員に地域社会に、貢献する』の理念に沿って、森林に付加価値をつけていく役割を全うしていきます。今後とも森林情報発信に努力してまいりますので、ご協力ご支援を宜しくお願い致します。



夏休み 木工教室



8月11日(日)、今年も恒例の「夏休み親子木工教室」を開催しました。当日は、親子79組、総勢175人の方に参加いただき、大変賑やかな中、無事に終了することができました。初めて参加してくれた方、去年に引き続き今年も参加してくれた方、おじいちゃん、おばあちゃんと参加してくれた方など大勢の方にお越しいただき、誠にありがとうございました。釘を打ち込むだけでも子供にとってはしんどい作業です。そんな子供達の道具さばきを心配そうに見守りながら、また、子供より真剣な表情で作業を手伝う親御さん達の姿を微笑ましく拝見しました。今年は特に暑さ厳しいなか、朝早くからお疲れさまでした。会場が少し狭いなど、不十分な点がありましたこととお詫びすると同時に、来年からの木工教室に活かしていきたいと思っております。来年も皆さんの参加をお待ちしています。

8/10 7/20 協働の森 高校生 間伐体験

7月20日に中土佐町久礼の山林で、富士通株式会社様と中土佐町が協定を結んでいる、富士通グループ・中土佐黒潮の森で間伐体験が行われました。この間伐体験は富士通株式会社様の社員を対象として行われ、多くの方がご家族での参加となりました。

実際に鋸を使って受け口を作り、追い口を入れるといった作業を行い、伐倒してもらいました。山林に入って斜面での作業に、「実際の現場に近い作業ができていい体験になった」とや「山で汗をかくのは気持ちがいい」という声をいただき、立木が倒れるときの迫力にみんな声を上げていて、参加者全員が充実した間伐体験になったと思います。また、この体験を通じて間伐の大切さを知ってもらえることができ、無事に終わることができました。



8月10日には高知県林業労働力確保支援センター主催の高校生間伐体験が須崎地区森林組合の現場で行われました。実際に立っている木の伐倒作業や、倒れた木を玉切る造材作業などを体験してもらいました。暑い中の作業でしたが、現場技術員の指導のもと安全に作業を行い、間伐の大切さなどを知ってもらえました。また、高性能林業機械を初めて見たという高校生もいて、初めての体験に高校生も貴重な体験ができたこと喜んでもらえることができました。

平成24年度から地籍調査事業に参入しました。

地籍調査とは？

地籍調査は、国土調査法に基づき行われる事業です。

人に「戸籍」があるように土地には「地籍」があります。戸籍は人に関する記録であり、地籍は土地に関する記録です。したがって、地籍調査とは、一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果を地図及び簿冊に作成するものです。

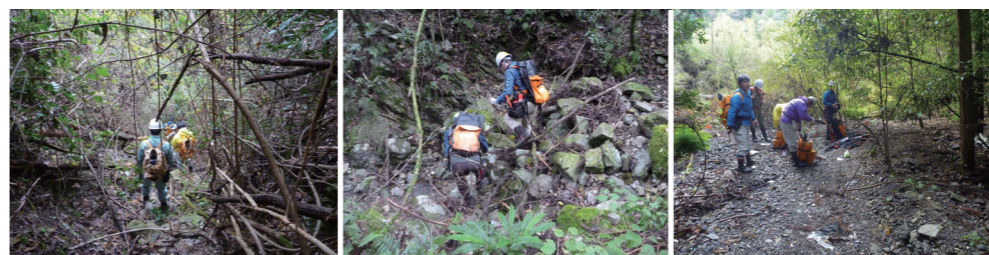
平成の現代においても、登記所（法務局）に備え付けられている地図の多くは、明治時代の地租改正によって作られた地図（公図）をもとにしたもので、土地の境界が不明確であったり、測量も不正確であったりする場合があることが実態です。

地籍調査の成果によって不動産登記の精度が高まり、個人の土地の所有の権利が明確になり、その後の土地取引の円滑化や行政の効率化に役立つことが期待されます。

調査を遂行するにあたっては、調査区はもちろんその隣接区を含めた住民の皆さんのご協力も必要ですので、よろしく願います。

調査実績

年 度	平成24年度	平成25年度調査予定	
	市 町 村	中土佐町	中土佐町
地 区	久礼の一部	久礼の一部	城山地区
調査面積	約400ha	約400ha	約50ha



地籍調査の様子

消防団で活動しています。

25年8月現在、須崎地区森林組合現場技術員・職員から11人が各地区の消防団に所属しています。消防団の活動は消火だけではありません。地域における消防、防災のリーダーとして平常時、非常時を問わずその地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

又、近年は女性の消防団への参加も増加しており、特に一人暮らし高齢者住宅への防火訪問、応急手当の普及指導などにおいて活躍しています。



須崎市消防団

笹岡正道 上分分団
岡崎 弾 吾桑分団
津野博紀 須崎分団
古谷彰敏 //
谷中横介 //

中土佐消防団

大西春夫 大野見分団

土佐市消防団

嶋崎伸之 宇佐西部分団

津野町消防団

大崎勇人 姫野々分団
高野大樹 //
片岡那彰 //
大崎 隆 //

山林買います！



高知県林業の起爆剤として期待されています。高知おおとよ製材が8月26日より操業を開始しました。それにともない県下単位組合でも木材増産の使命が課せられ、当組合においても増産に向けた方向転換を図っております。

間伐だけで増産できる量ではありませんので、今後は皆伐を含めた増産計画をたて、事業を推進していきたいと考えています。

このような事業方向（展開）になってきていますので、当組合でも、組合員の山林（立木）を買取致します。希望の方が、ありましたら組合の方にご連絡ください。日程を調整し、見積もりにお伺いいたします。

連絡先

〒785-0024 高知県須崎市安和925番地
電話：0889-43-0030 FAX：0889-43-0031
メールアドレス：susashin@shirt.ocn.ne.jp

分収造林について



伐採跡放置林で分収造林をしませんか。

分収造林の条件

- 5ha以上
- 現在、保安林でないこと
- (保安林に地目変更しないといけない。)
- 抵当権がないこと

興味や関心のある方、対象となりそうな山林を所有されている方からの情報・ご相談をお待ちしています。



伐採跡地

生活林伐採事業に取り組んでいます！

生活林伐採事業とは、生活の支障となっていたり景観を損なう木、風倒の可能性が高い危険な木などを伐採し生活環境の改善を図る事業です。

数年前は気にならなかった裏山の木や雑草・庭木などがいつの間にか大きく成長してしまい日当たりが悪くなったり、枝葉が家を傷めていたり、通学路・通勤路で大きくなった木が邪魔をして見通しがきにくく危ない、風で大木が倒れる危険性があるなどの不安はありませんか？

そういうところがあれば、森林組合にお任せ下さい。生活林伐採事業での受注はここ3、4年の間に急増しており、人家はもちろん神社、学校、公共施設周辺のあらゆる現場に対応しており実績、経験は問題ありません。またお見積もりも無料となっておりますので、お見積もり提出後ゆっくりご検討していただけます。

ぜひお気軽に下記の電話番号又はメールまでご連絡ください。担当がお客様のご都合の良い日に合わせて現地確認にお伺いします。

連絡先 〒785-0024 高知県須崎市安和925番地 電話：0889-43-0030 FAX：0889-43-0031 メールアドレス：susashin@shirt.ocn.ne.jp



～森林組合【木工部】からお知らせ～

マルナカすき店さん
『黒潮市場』に出店しています☆

須崎地区森林組合では、現在木工職人さん1人で色々な木工商品を作っています。

材料のほとんどが地元産スギ・ヒノキの間伐材を使っており、森林組合ならではの安さでイスやテーブル、まな板などを販売しています。

ぜひ、マルナカ須崎店さんに買い物に来た時には黒潮市場にも立ち寄っていただき、全て手作りで温かみのある我が森林組合の木工商品を手にしてみてください♪
オススメはヒノキのまな板！1枚400円から千円程度で販売しています。



店内設置の様子



また、各地域の産業祭や祭りにも積極的に出店していく予定です。どこかの会場で見掛けたら気軽に声を掛けてください。

2千円のベンチをはじめ、各サイズのイスやテーブルなど販売しています。

ここでのオススメは
☆ワンコイン☆500円イスです！山積み
のイスが目印！
その他、季節の花や苗、野菜の苗なども販売しています。

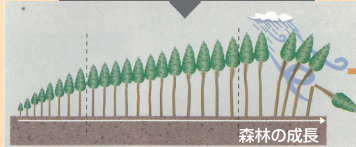
いご問伐!!

暗い森林、気がかりではありませんか？先祖代々、受け継いできた山の手入れを始めてみませんか。

問伐で森林がきれいに、豊かに生まれ変わります

問伐をすると、森林がどのように変わっていくのでしょうか。問伐をしなかった場合と比較してみましょう。

問伐しないと

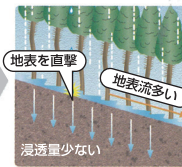


木は細いまで、下層には下草も育ちません。

成長が抑制され、木材としての価値も下がります。

成長が抑制される

地表がむき出しのため、表土が流出しやすくなります。



風雪害などが起きやすくなります。

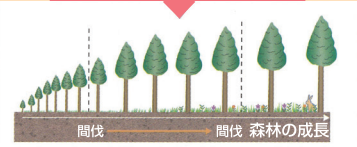


雪害



台風による風倒被害

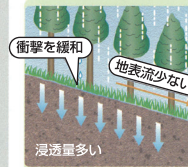
問伐すると



幹が太くしっかりとし、下層植生も豊かな森林に育ちます。

年輪幅の整った、利用価値の高い木材となります。

問伐後の成長量



下草等が雨の衝撃を緩和し、表土の流出が抑えられます。雨水の浸透量や保水量も多くなり、水源涵養機能が高まります。

風雪害などに対して抵抗力の高い健全な森林となります。



手入れすることで、いろいろな生物が住める山になったり、ひいては地球温暖化防止にもつながるんだな。



問伐を行うと、暗い森林に光が入り、災害などにも強い健全な、資産価値の高い森林へと育っていきます。

問伐された材を積極的に利用していくことで、皆さんの収入につながり、また、搬出・加工、流通、利用に至るさまざまな雇用が生まれ、地域の活力につながっていきます。

須崎地区森林組合では今年度、800haの間伐目標を掲げ、国・県・市の補助事業を活用しながら所有者さんの負担を大幅に軽減し事業に取り組んでいます。

問伐作業も須崎地区森林組合の現場技術員が行うので確かな技術により資産価値の高い森林へと育っていきます。問伐の申請も簡単ですし、補助金の申請業務等もすべて須崎地区森林組合が行います。

いつでも受け付けておりますので、ご自分の山が気になった時は、須崎地区森林組合までお電話下さい。

連絡先

〒785-0024 高知県須崎市安和925番地
電話：0889-43-0030 FAX：0889-43-0031
メールアドレス：susashin@shirt.ocn.ne.jp

編集後記

高知おおとよ製材が完成し高知県から原木の増産に取り組むよう指導されています。今現在は、高知おおとよ製材の規格に合う原木が須崎地区の事業エリアには少なく、まだまだ手入れを必要としている森林が大半だと感じます。今後徳島県にも大型製材工場が完成するという事も聞いています。木質バイオマス発電等、木材需要の高まる要素もあり、その時に備えて問伐等森林整備に取り組んでいきたいと思えます。これからもよろしくお願ひします。

須崎地区森林組合

〒七八五-〇〇二四
高知県須崎市安和九二五番地
電話 0889-43-10030

忘れかけていた言葉



「お疲れ様、今日もご苦労様。」

ご主人が1日の仕事を終えて帰宅した時、奥様は「お仕事お疲れ様、今日もご苦労様。」と労いの言葉をかけていますか。昔はお父さんが給料袋を持って帰ってきた時、一ヶ月ご苦労様と声かけがあったと聞いています。今は共働きが多く給料も銀行振込で、その良さもなくなりましたが、夫婦円満はお互いに尊重し、労うことでそれを声に出し、表現してこそ絆が深まります。

最初は照れくささもありますが、朝の家族挨拶と同じで一度声に出してしまえば後は抵抗なく出てきますので、実行してみてください。

—いつやるの、今でしょ—